

公益社団法人 日本ボディビル・フィットネス連盟
平成 29 年度 臨時社員総会議事録

I. 日 時 平成 29 年 10 月 8 日 (日) 14:00~17:00

II. 場 所 東京都港区高輪 3 丁目 1 3-1 TAKANAWA COURT 3F
TKP 品川カンファレンスセンター-ANNEX ホール 3

○出席正会員 (35 名)

○出席委任正会員 (16 名)

○欠席正会員 (8 名)

○出席監事 (2 名)

事務局より、本総会は会員現在数 59 名の内、本日出席の正会員は、議決権行使書を提出した正会員を含め 51 名であり、本日の全ての議案について審議するのに必要な定足数を満たしている旨が報告された。

開会に先立ち、藤原会長が議長に選出された。また、議事録署名人には、元木俊博氏及び北原誠氏が指名された。

III. 議 事

【決議事項】

第一号議案 定款変更の件

- ・事務局より、現在内閣府へ事業変更を申請しているジュニア助成公募事業に関して、以下の通り定款第 4 条の一部を変更したい旨の説明があった。

現行	変更案
第 4 条 (事業) この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 (1)ボディビル・フィットネスの普及及び指導並びに振興 (2)ボディビル・フィットネス競技会の開催及び派遣 (3)ボディビル・フィットネスに係る指導、審査に関する養成及び認定と登録 (4)ボディビル・フィットネス施設の認定及び登録 (5)ボディビル・フィットネスに係るレー	第 4 条 (事業) この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。 (1)ボディビル・フィットネスの普及及び指導並びに振興 (2)ボディビル・フィットネスジュニア選手への助成 (3)ボディビル・フィットネス競技会の開催及び派遣 (4)ボディビル・フィットネスに係る指導、審査に関する養成及び認定と登録 (5)ボディビル・フィットネス施設の認定

<p>ニング用機器・用品及び食品等の研究並びに認定</p> <p>(6)ドーピング検査並びにアンチドーピングの広報及び啓蒙、並びに指導と実践</p> <p>(7)ボディビル・フィットネスの国際組織への加盟及び役員の派遣</p> <p>(8)ボディビル国際選手権の開催並びに国際選手権への代表選手、審査員役員の選考及び派遣</p> <p>(9)その他この法人の目的達成に必要な事業</p>	<p>及び登録</p> <p>(6)ボディビル・フィットネスに係るレーニング用機器・用品及び食品等の研究並びに認定</p> <p>(7)ドーピング検査並びにアンチドーピングの広報及び啓蒙、並びに指導と実践</p> <p>(8)ボディビル・フィットネスの国際組織への加盟及び役員の派遣</p> <p>(9)ボディビル国際選手権の開催並びに国際選手権への代表選手、審査員役員の選考及び派遣</p> <p>(10)その他この法人の目的達成に必要な事業</p>
---	--

- ・結果、議決権行使 51 名の多数で可決。

【理事会決議事項の報告】

1. 正会員 1 名の選任について

- ・議長より、秋田県連盟選出の豊田成昭正会員の辞任に伴い、秋田県連盟現理事長の黒澤正隆氏を新たに正会員に選任したとの報告があった。

2. 指導委員会委員の選任について

- ・議長より、新たに西勝氏を指導委員会委員に選任したとの報告があった。

3. ジュニア助成公募事業規程の改定について

- ・事務局より、以下の通りジュニア助成公募事業規程を改定したとの報告があった。

現行	変更案
<p>■助成対象者の決定</p> <p>2.上記 1.の内、将来の活躍が有望な選手を助成対象候補者として選考委員会が書類選考の上、5 名以内を選出する。</p>	<p>■助成対象者の決定</p> <p>2. 1.の内、将来の活躍が有望な選手を助成対象候補者として、選考委員会が選考基準に則り選出する。(応募者と選考委員の間に特別な利害関係が生じる場合は、選考に関与しないようにする。)</p>
<p>■選考基準</p> <p>1.原則として JBBF 公認指導員の指導を受けていること。</p> <p>2.アンチドーピングの知識を身に付けていること。</p> <p>3.将来の選手活動計画が明確になっていること。</p>	<p>■選考基準</p> <p>1.スポーツ活動経験年数、及び過去・当年の選手権大会における成績を以下のとおり点数化する。双方を合算した数値を以て順位付けを行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動経験年数 10 年以上+20 点、5 年以上 10 年

	<p>未満:+15点、5年未満:+10点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去及び当年の当連盟主催選手権大会における成績 優勝:+30点、2位:+20点、3位:+10点。 地方連盟(ブロック)ジュニアの部 優勝:+5点。 <p>2. 1.の順位付けで5位以内に同点のある場合は、個別に面接の上、上位5名の順位を決定する。</p> <p>3. 1.及び2.で以て、上位5名以内を選出する。</p>
<p>■助成対象者の義務と責任</p> <p>3.マスコミ、スポンサーからの要望に応えること。</p>	<p>■助成対象者の義務と責任</p> <p>3.【削除】</p>

4. 業務委託契約の締結について

- ・事務局より、ジュニア助成公募事業を進めるにあたっての、①Webシステム構築・運用・保守業務、②同Webを活用したWeb集客・広報支援及び製作物・営業支援業務を、株式会社FIELD OF DREAMSに委託する業務委託契約の締結を理事会に諮ったが、理事より、委託業務の内容が具体性に欠き、委託料の妥当性が確認できないとの意見が出されたため、本議案は継続審議となった旨が報告された。

5. 公認品認定について (セルフタンニングローション)

- ・辻本常務理事より、新たに株式会社アールオーエヌで開発したセルフタンニングローションについて、成分は市販の日焼けローションに含有しているものと同一で、自らの実験でも皮膚がかぶれる等の症状は発生しておらず安全であり、また価格等は以下の通りとなる旨の報告があった。
 - ①開発・販売元：株式会社アールオーエヌ
 - ②販売単価：3,000円 (JBBFへの協力金：600円)
 - ③公認クラブへの卸単価：2,100円 (JBBFへの協力金：300円)
 - ④フィジークオンラインでの販売単価：3,000円 (JBBFへの協力金：600円)
- ・同理事より、選手権大会実施規程第14条でカラーリングは原則禁止と規定されているため、同規程の改定が必要であるとの説明があった。
- ・また同理事より、カラーリングに対する環境変化を踏まえ、当該セルフタンニングローションは、推奨品として認定された旨が報告された。

6. JBBF ポータルサイトの製作について
- ・事務局より、現在の JBBF ホームページと JBBF トレーニングコミュニティのホームページを統括するポータルサイトを新たに製作することで、使いやすさ、セキュリティの強化、ブランディング価値を高め、また同サイトに株式会社アールオーエヌが運営するフィジークオンラインへのリンクを貼ることで、選手登録の窓口を増やし選手登録数の増加を図る旨の報告があった。
 - ・また事務局より、同ポータルサイトの製作は、株式会社アールオーエヌが無償で行うが、その保守・運営費については、合理的な方法での算出を検討することが報告された。
7. 日本選手権大会の後援名義と記事掲載について
- ・事務局より、スポーツニッポン新聞社に対して、①日本選手権大会の後援名義申請、②日本選手権大会の記事掲載、を併せて 30 万円で発注する旨の報告があった。
8. 新規公認クラブ認定の件
- ・事務局より、下記のクラブ・同好会が公認クラブ・同好会として認定された旨の報告があった。
 - 《正公認クラブ》蔵の街スポーツクラブ 栃木県連盟 代表：川出貴士
 - 《準公認社会人クラブ》
 - (株)サンワボディビル・フィットネスクラブ 代表：遠藤孝志
 - 《準公認社会人同好会》
 - AGC 鹿島ボディビル・フィットネス同好会 代表：栗田与志春
9. IFBB プロ申請について
- ・事務局より、長谷川浩久選手を IFBB プロに申請する旨の報告があった。
10. オールジャパンフィットネス選手権での審査について
- ・中尾副会長より、規約を整理し、失格の定義を明確にした上で、ホームページで発表する旨の報告があった。
11. 今年度の国際大会派遣役員及び選手の選出について
- ・議長より、以下の選出方針が発表され、今年度の国際大会への派遣役員及び選手が発表された。
- 【選出方針】①男子ボディビル・女子フィジークは、日本選手権の結果を以て決定する。
②派遣選手は、オーバーオール優勝者と過去の国際大会での成績を重視する。
③渡航費用については、JBBF 負担と個人負担とに分類され、国際大会上位入賞の可能性のある者について JBBF 負担を認める。

■世界男子選手権

団長：藤原達也、監督：涌島剛智三、コーチ兼通訳：木下美弥子

	カテゴリー	クラス	参加希望選手	大会実績	補足説明
1	男子ボデビル	65kg以下	【未定】浅野喜久男	クラス別優勝	アジア連続2位
2	男子ボデビル	70kg以下	【未定】加藤直之、田代 誠、木村征一郎	日本選手権 位	1人選出
3	男子ボデビル	75kg以下	【未定】須山翔太郎、山口裕	日本選手権 位	2016世界大会3位 1人選出
4	男子ボデビル	80kg以下	【未定】鈴木雅	日本選手権 位	2016世界大会 1位
5	男子クラシックボデビル	175cm以下	【自費参加】松岡 啓 45才 大阪	175cm級クラシック1位	クラス別 2位
6	男子フィジーク	170cm以下	【連盟派遣】湯浅幸大 34才 東京 169cm	フィジーク172cm級 優勝	2016世界大会 2位
7	男子フィジーク	170cm以下	【連盟派遣】田村宣丈 45才 東京 167cm	フィジーク172cm級 優勝	40才超 アジアオーバーオール 2位
8	男子フィジーク	173cm以下	【連盟派遣】佐藤正悟 37才 大阪 173cm	フィジーク176cm級 優勝	オーバーオール優勝、2016世界大会 3位
9	男子フィジーク	176cm以下	【自費参加】甲村隆一朗 32才 愛知 174cm	フィジーク176cm級 2位	
10	男子フィジーク	179cm以下	【自費参加】小泉 憲治 32才 神奈川 177cm	フィジーク176cm超級 2位	
11	男子クラシックボデビル	165cm以下	【自費参加】渡部 工兵 29才 東京 165cm	165cm級クラシック 1位	

■世界ジュニア&マスターズ選手権

監督：朝生照雄、コーチ：市川櫻

	カテゴリー	クラス	参加希望選手	大会実績	補足説明
1	ジュニア男子ボデビル	75kg超級	【未定】横川尚隆 23才 東京 80kg		ジュニア大会不参加のため協議する
2	ジュニア男子フィジーク		【自費参加】安田旬輝 20才 愛知 171cm	ジュニア男子フィジーク優勝	
3	ジュニア女子ビキニフィットネス	160cm以下	【自費参加】許 冴恵 21才 神奈川 158cm	オールジャパン158cm 優勝	35才以下級
4	マスターズ女子ビキニフィットネス	163cm以下	【自費参加】秋本明子 37才 神奈川 156cm	オールジャパン158cm級 優勝	35才超級 オーバーオール2位
5	マスターズ女子ボデビルフィットネス 35才以上	45才以上級	【自費参加】長嶋雅子 52才 埼玉 154cm	オールジャパン50才以上級 優勝	35才超級
6	マスターズ女子ボデビルフィットネス 35才以上	45才以上級	【自費参加】山本加容子 52才 東京 166cm	オールジャパン163cm超級 優勝	
7	男子フィジーク	40~44才	【自費参加】中村厚志 40才 東京172cm超級	フィジーク40才172cm超級 優勝	オープンクラス
8	女子フィジーク	35才以上	【未定】山野内里子、大澤直子、澤田めぐみ		日本選手権上位選手 1名
9	男子クラシックボデビル	40~44才	【連盟派遣】仲泊兼也 44才 沖縄	クラシック171 1位	オーバーオール優勝
10	マスターズ男子ボデビル 50才以上	80kg以下	【※】村松幸大 51才 埼玉	50才、70kg級ボデビル 1位	オーバーオール優勝
11	マスターズ男子ボデビル 55才以上	75kg以下	【連盟派遣】難波文義 62才 三重	60才ボデビル 1位	60才以上オーバーオール優勝
12	マスターズ男子ボデビル 55才以上	75kg以下	【自費参加】金澤利興 81才 広島	80才ボデビル 1位	
13	マスターズ男子クラシックボデビル 50才以上		【※】林 勇宇 56才 東京	50才、70kg超級ボデビル 1位	2016世界マスターズクラシックボデビル50才2位

■世界フィットネス選手権

監督：辻本俊子、コーチ：木下美弥子

	カテゴリー	クラス	参加希望	大会実績	補足説明
1	女子ボデビルフィットネス	163cm以下	【連盟派遣】越川順子 49才 埼玉 161cm	オールジャパン163cm 1位	オーバーオール優勝
2	女子ビキニフィットネス	158cm以下	【自費参加】秋本明子 37才 神奈川 156cm	オールジャパン158cm 1位	35才超級
3	女子ビキニフィットネス	162cm以下	【自費参加】下村裕希 30才 大阪 162cm	オールジャパン163cm 1位	35才以下級
4	女子ビキニフィットネス	166cm以下	【自費参加】福島麻里 29才 大阪 165cm	オールジャパン163cm超 2位	35才以下級
5	女子ビキニフィットネス	172cm以上	【自費参加】安井友梨 33才 愛知 173cm	オールジャパン163cm超 1位	35才以下級
6	女子ビキニフィットネス	172cm以上	【連盟派遣】小野貴子 38才 東京 174cm	オールジャパン163cm超 1位	35才超級
7	女子フィジーク		【未定】山野内里子、大澤直子、澤田めぐみ		日本選手権上位選手 1名

1 2. 来年度の JBBF 主催大会の開催日程について

- ・事務局より、以下の通り発表された。

開催日	大会名	開催場所
2018 年 7 月 27 日 (金)	SPORTEC CUP 2018	東京ビッグサイト内 イベントスペース
2018 年 9 月 1 日 (土)	日本女子チャレンジカップ ミス 21 健康美	きゅりあん 小ホール
2018 年 9 月 2 日 (日)	オールジャパン・ メンズフィジーク他	北とびあ
2018 年 9 月 16 日 (日)	日本マスターズ 【明治維新 150 年記念大会】	防府市地域交流センター
2018 年 9 月 24 日(月・祝)	オールジャパン・ ミスフィットネス他	北とびあ
2018 年 10 月 7 日 (日)	日本選手権	メルパルク大阪ホール
未定	日本クラス別	未定
未定	日本クラシック	未定
未定	ジャパンオープン	未定

1 3. 来年度からの Web による公認クラブ選手登録について

- ・青田専務理事より、来年度からの公認クラブ選手登録が Web 化され、フローが以下の通り変更する旨の報告があった。

【従来の登録】(申込書と登録費) 選手→公認クラブ→地方連盟→JBBF

【来年度からの登録】(Web) 選手→公認クラブ→JBBF ※登録費は振込又はカード決済
(Web) JBBF→地方連盟 ※所属登録選手の一覧と登録費の振込

1 4. 来年度からのオールジャパンフィットネス選手権の出場資格について

- ・辻本常務理事より、来年度からのオールジャパンフィットネス選手権の出場資格を以下の通り変更する旨の報告があった。

- ①地方オープン大会 1 位～3 位
- ②地方選手権大会 1 位～3 位
- ③ブロックオープン/選手権大会 1 位～6 位
- ④東/西日本オープン/選手権大会 1 位～6 位
- ⑤前年度オールジャパン 1 位～12 位
- ⑥所属連盟の推薦

15. 今年度の選手登録数について

- ・事務局より、下記の通り、今年度の選手登録数（9月末現在）は3,501名となり、これは前年2,707名を大幅に（+794名）上回るものであることが報告された。

登録種別	2014年度	2015年度	2016年度	当年度
公認クラブ登録選手数	2,005名	2,260名	2,468名	2,717名
ボディビル個人登録選手数	—	—	41名	107名
フィットネス個人登録選手数	—	—	198名	293名
小計	2,005名	2,260名	2,707名	3,117名
限定登録選手数	—	—	—	384名
合計	2,005名	2,260名	2,707名	3,501名

16. オールジャパンフィットネスのネット放送について

- ・辻本常務理事より、J-Sports社によるオールジャパンフィットネスのネット中継（L.A.ニュートリション社の協賛）について報告があった。

17. 日本女子チャレンジカップ及びミス21健康美大会について

- ・青田専務理事より、日本女子チャレンジカップ及びミス21健康美大会は近年出場選手数が少なく大会収支も赤字が続いているため、日本社会人連盟主催の大会に移行すべく、日本社会人連盟五十嵐理事長へ検討を要請した。

18. 合戸選手の海外派遣について

- ・議長より、株式会社健康体力研究所の依頼に基づき、10/23～25に香港で開催される「オリンピック・アマチュア・アジア」に合戸選手、織田監督（マッスルメディア）、村上コーチ（THINKフィットネス）、他3名を派遣する旨の報告があった。
- ・また議長より、派遣費用は全額、株式会社健康体力研究所が負担することが報告された。

19. 事務局からのお願い

- ・事務局より、来年1月より「ゆうメール」が大幅に値上げされるに伴い、今後はメール、FAXでの対応に代えていく旨の報告があった。

以上、各報告責任者から報告され終了した。